

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

アレルギー性気管支肺アスペルギルス症における 特異的 IgG 抗体測定法の検討

1. 研究の対象

下記の臨床研究に参加された方

①受付番号：13R-107

研究課題名：アレルギー性気管支肺真菌症の診断・治療指針確立のための
症例登録研究

症例登録期間：2013年7月24日～2019年3月31日

②受付番号：16R-106

研究課題名：日本人一般集団におけるアレルゲン特異的 IgE/IgG 抗体保有状況の
検討 —日本赤十字社保管検体利用研究—

症例登録期間：2005年4月1日～2018年3月31日

③受付番号：19R-303

研究課題名：真菌（カビ）関連呼吸器疾患における体内環境中真菌の評価

症例登録期間：2020年4月18日～2023年6月5日

④受付番号：20R-129

研究課題名：室内環境真菌叢と真菌関連アレルギー性気道疾患

症例登録期間：2020年8月25日～2022年12月31日

2. 研究実施期間

（機関の長の許可日） から 2026年3月31日 まで

3. 研究目的・方法

目的 本研究では既存試料である日本人 ABPA 患者血清ならびに ABPA 類縁疾患（真菌感作喘息、慢性肺アスペルギルス症）患者血清、健常人血清（日本赤十字社の保管血清）について ELISA 法を用いてアスペルギルス・フミガーツス特異的 IgG 抗体価の測定を行い、既存情報である臨床情報、沈降抗体、ImmunoCAP 法で測定した IgG 抗体価との相関を検討します。

方法 この研究に使用する試料・情報として、すでに保存されている項目 4 に記載する血清等を使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・試料：血清
- ・情報：年齢、性別、喘息合併の有無、ABPA 発症年齢、ABPA 診断時および血清採取時データ（末梢血好酸球数、血清総 IgE 値、アスペルギルス特異的 IgE 抗体価、末梢血好酸球数、真菌培養結果、胸部 X 線・CT 所見、粘液栓病理所見）、診断時および血清採取時の治療内容、アスペルギルス特異的沈降抗体、IgG 抗体価（ImmunoCAP 法）

5. 情報の提供先・提供方法

該当なし

6. 利益相反に関する事項

この研究は、バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社との契約に基づく資金提供により実施されます。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：2212）

研究責任者 呼吸器内科 浅野 浩一郎

問い合わせ担当者 呼吸器内科 浅野 浩一郎